



令和8年 熊本地震に関する九州地方整備局の活動状況



～ 全国のTEC-FORCEが集結、被災地の早期復旧に向け全力で支援します ～



九州地方整備局
令和8年8月

【目 次】

1. 令和8年熊本地震の概要
2. 地震発生後の初動体制、緊急調査
3. 被災状況・応急復旧等
4. 災害対策機械等を派遣
5. 自治体支援
6. TEC-FORCEの調査結果を自治体へ報告
7. 建設業界の活躍やSNS等による情報発信
8. 大臣視察について

1. 令和8年熊本地震の概要

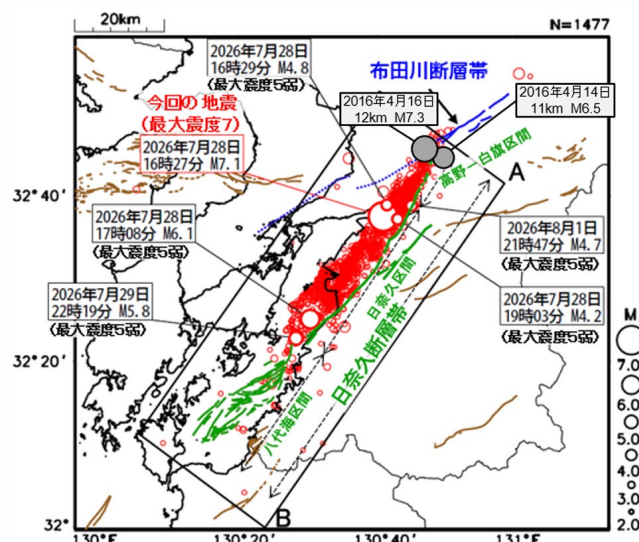
- 令和8年7月28日、16時27分頃、熊本県熊本地方でマグニチュード7.1(暫定値)の地震が発生。熊本県宇城市及び氷川町で震度7を観測。
- 今回の地震発生以降、8月5日12時00分現在、この地震による地震活動域で、震度1以上を観測した地震が536回発生(震度7:1回、震度5弱:5回、震度4:19回、震度3:54回、震度2:140回、震度1:317回)

■震度分布図



▲ 日本製紙煙突崩壊を防災ヘリ「はるかぜ」より撮影

■震央分布図



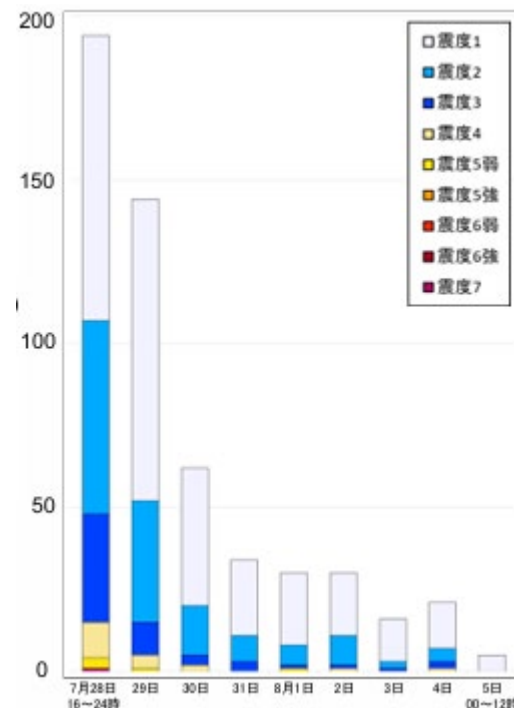
■震度1以上の地震回数 (8月5日 12時現在)

震度	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計
回数	317	140	54	19	5	0	0	0	1	536

※掲載している地震回数は速報値であり、後日の調査で変更になることがあります。

▲ 気象庁HP([202607281627_jishingaiyou.pdf](https://www.jishingaiyou.pdf))より

■震度1以上の地震回数グラフ (8月5日 12時現在)



2. 地震発生後の初動体制、緊急調査（TEC-FORCE、リエゾン派遣）

- 7月28日16時27分頃に地震が発生後、同時刻に災害対策本部を立ち上げ、非常体制を発令。
- 一刻も早い被災状況の把握と災害復旧対策の技術的支援を行うため、7月29日から熊本県庁、八代市、宇城市、宇土市、上天草市、天草市、氷川町、甲佐町などに「TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）」及び「リエゾン」を派遣。



2. 地震発生後の初動体制、緊急調査（全国初TEC-FORCE予備隊）

- 7月28日、熊本県宇城市、氷川町における震度7の地震発生により、熊本県で甚大な被害が発生。
- 7月30日から全国初の「TEC-FORCE予備隊」を、被災地に派遣し、被害を受けたインフラ等の調査を開始。

※「TEC-FORCE予備隊員」とは、災害対応に係る専門的な知識・経験を有し、非常勤職員の国家公務員として災害時にTEC-FORCEの一員となり被災地等で活動する候補者の方々です。

X投稿



▲ 八代市役所で調査個所の打合せ



▲ 松本橋(氷川町)の被災状況調査



▲ 被災状況調査



▲ 現地で復旧に向けた技術的助言

2. 地震発生後の初動体制、緊急調査（全国各地から支援）

○ 全国各地の整備局からTEC-FORCEが集結。全国一丸となり、調査や支援に協力。



△九州派遣に向けた出発式



△ 全国のTEC-FORCE隊による給水支援活動



△複数地整を集めての調整会議



△ 他地整から派遣の防災ヘリコプター

令和8年熊本地震 TEC-FORCE活動状況

○全国から国土交通省TEC-FORCEが集結し、被災状況調査や、給水・トイレ及び電源支援等の災害対策機械による応急対策の技術支援を実施。

○令和8年8月10日時点で、6市4町を中心に他のべ約3,000人・日で活動を展開(リエゾン等含む)

▼ヘリによる上空からの被災状況調査及び映像の提供



宇城市

▼河川護岸の被災状況調査



氷川町

▼橋梁の被災状況調査



宇城市

▼岸壁背後の被災状況調査

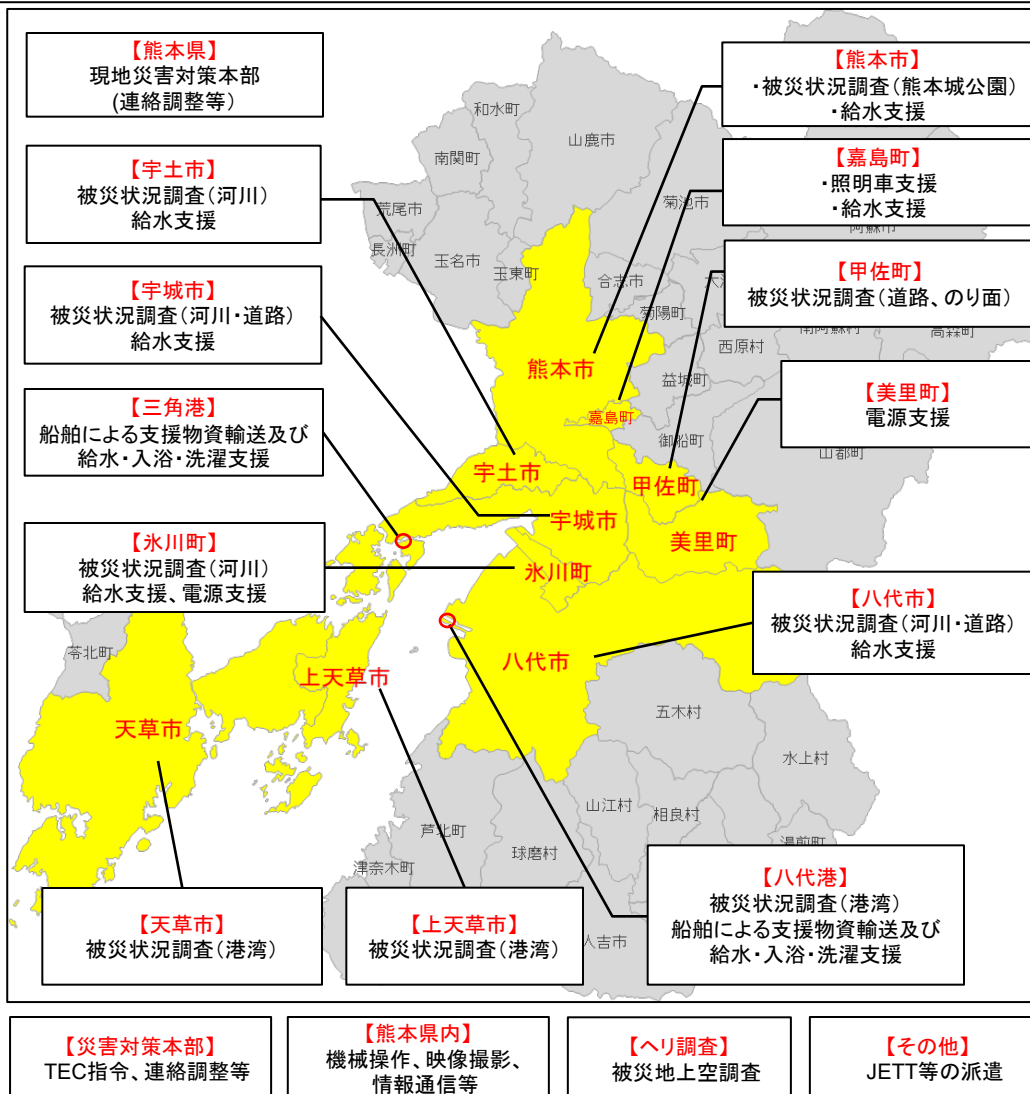


八代港

▼ドローンによる被災状況調査



甲佐町



▼断水発生による給水支援



宇城市

▼防災用コンテナ型
トイレの派遣



宇城市

▼ボランティアセンターへ
対策本部車を提供



氷川町

▼照明車による人命救助活動の支援



イオンモール熊本

▼電力復旧までの電源支援



氷川町

令和8年8月10日現在:延べ約3,000人・日

2. 地震発生後の初動体制、緊急調査（防災ヘリによる調査）

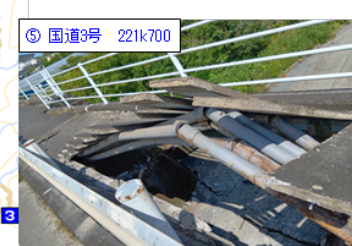
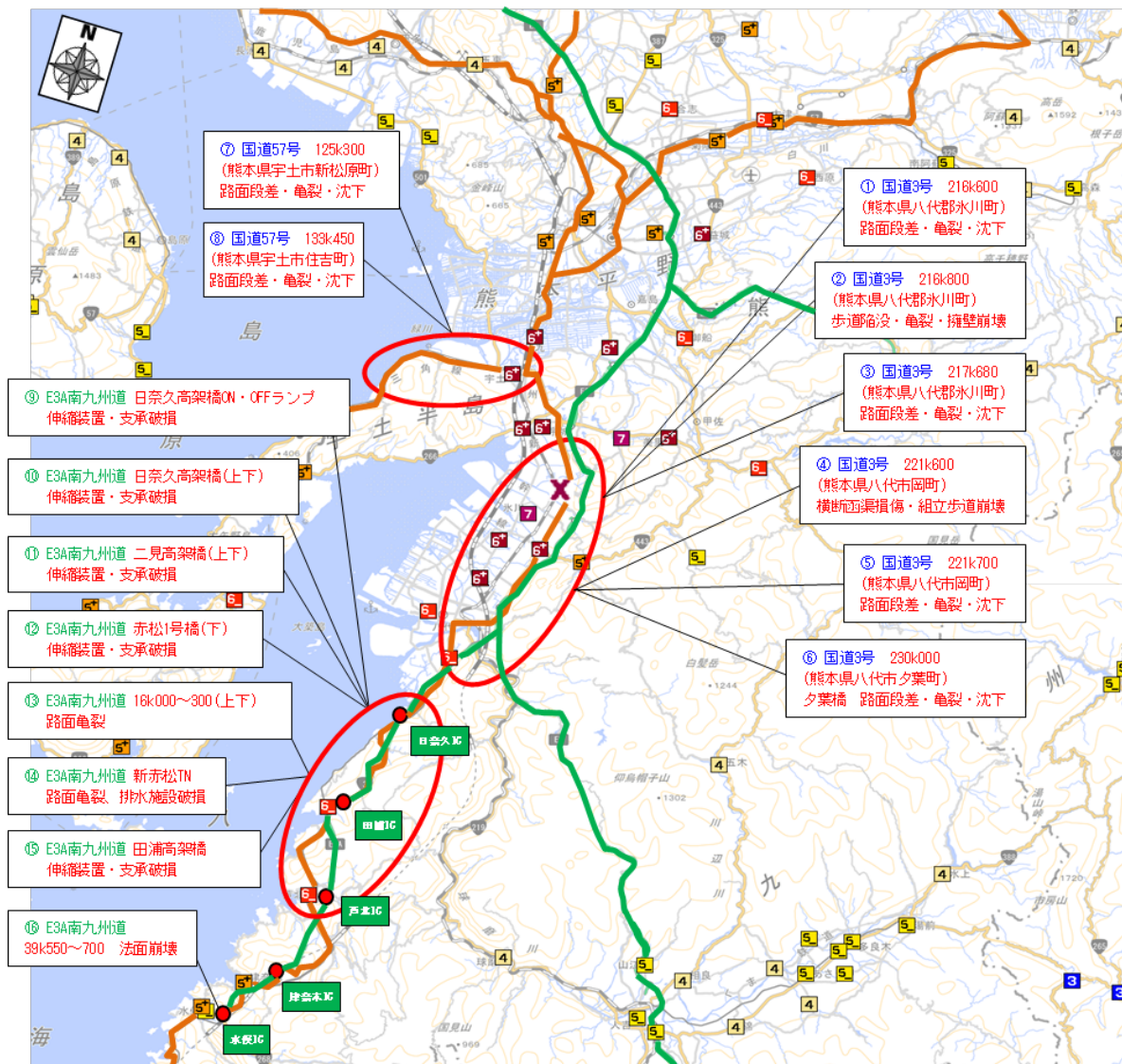
- 7月28日から防災ヘリコプター「はるかぜ(九州地整)」「愛らんど(四国地整)」「きんき(近畿地整)」「おりづる(中国地整)」による道路、橋梁、堤防、港湾などの被災状況の上空調査を10回以上実施。被災した自治体にリアルタイムで情報を提供。



3. 被災状況・応急復旧等（道路）

○震源に近い、八代市・氷川町に被害が集中し、直轄国道では、16箇所の大い被害を確認。
（国道3号6件・国道57号2件・E3A南九州道8件）

【広域図】



3. 被災状況・応急復旧等（道路）

- 南九州西回り自動車道(日奈久IC～水俣IC間)において、高架橋の伸縮装置・支承部の損傷、法面崩壊、舗装版の亀裂及び 浮き上がりを確認。
- 田浦IC～水俣IC間は、7/29には車両通行可能とし交通開放。
- 日奈久IC～田浦IC間は、7/30より、緊急車両の通行を開始し、8月後半までに一般車両通行可能となるよう 応急復旧工事中。



①被災状況（伸縮装置破損）



②被災状況（支承部破損）



3. 被災状況・応急復旧等（道路）

○国道3号(八代郡氷川町～八代市夕葉町間)において、舗装版の段差・亀裂及び浮き上がり、横断暗渠の破損、組立歩道の崩壊を確認。

○被災翌日の7/29には車両通行可能とし、引き続き、走行性確保のため舗装作業を実施中。





3. 被災状況・応急復旧等（道路）

○熊本県域の行政機関や高速道路会社等の道路管理者等で構成する「熊本県 災害時交通マネジメント検討会」を設置し、被災状況の情報共有や今後の対応(案)について意見交換を実施。
また、現地の渋滞状況を確認するため、渋滞調査を実施。

■被災地周辺の交通量を抑制させる取組



▲広域迂回の案内（九州地方整備局・NEXCO西日本）

令和8年熊本地震の影響に伴う移動に関するお願い

2026年8月2日 10時00分現在
国土交通省九州地方整備局
国土交通省九州運輸局
西日本高速道路株式会社九州支社

令和8年熊本地震で亡くなられた方にお悔やみを申し上げるとともに、被災された皆さまに改めてお見舞い申し上げます。

7月28日の令和8年熊本地震の影響により、熊本県内においては、高速道路や主要幹線道路の通行止めや、公共交通機関の運休が発生しております。

そのため、宇城市から八代市間の国道3号を始めとした通行可能な道路に多くの車両が集中し、交通混雑が発生しており、被災地における復旧作業や物資輸送に影響が出ているところです。

一日も早い復旧のため、被災地周辺の一般車両の通過は、控えて頂くようご理解とご協力をお願いします。やむを得ず外出する場合は、現地の誘導や迂回路案内に従って頂くとともに、緊急車両の通行確保にご協力をお願いします。

▲出控えの呼びかけ
（九州地方整備局・九州運輸局・NEXCO西日本）

■被災地周辺の交通を円滑化する取組



▲迂回路案内の強化（国道3号と県道14号の分散）



デジタルサイネージ等設置の状況

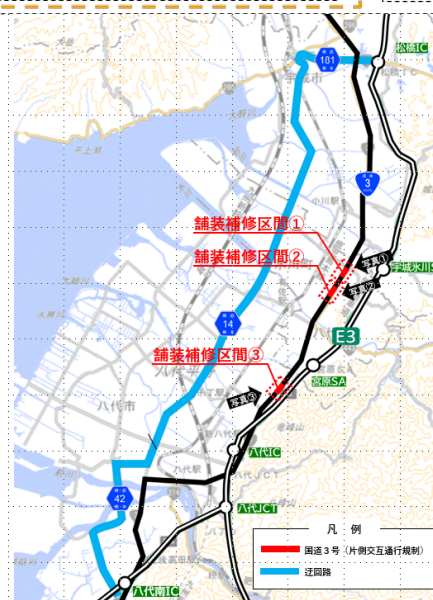


交通状況調査の状況



道路の路面状況の調査

▲職員による徒歩巡回調査



▲路面補修による平坦性確保の取組（熊本河川国道事務所）



▲発災翌日から熊本県災害時交通マネジメント検討会を開催
（九州地方整備局・九州運輸局・熊本県・熊本県警察・NEXCO西日本等）

3. 被災状況・応急復旧等（河川）

- 発災後、堤防等の緊急点検を実施し、球磨川では河川堤防等44箇所の変状を確認。
- 44箇所の変状のうち、緊急的な復旧工事が必要な3箇所を確認。

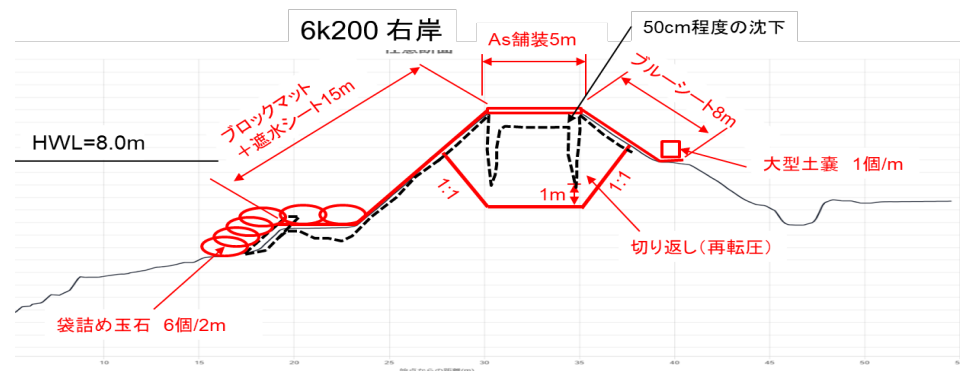
【河川管理施設変状状況】
球磨川水系 44箇所

「令和8年熊本地震」 球磨川堤防等緊急点検結果
(八代河川国道事務所管内 8月2日時点)



3. 被災状況・応急復旧等（河川）

- 河川堤防の変状が確認された球磨川において、7月29日に緊急復旧工事に着手。
なお、復旧にあたっては、専門家(国土技術政策総合研究所等)による技術指導を踏まえ実施。

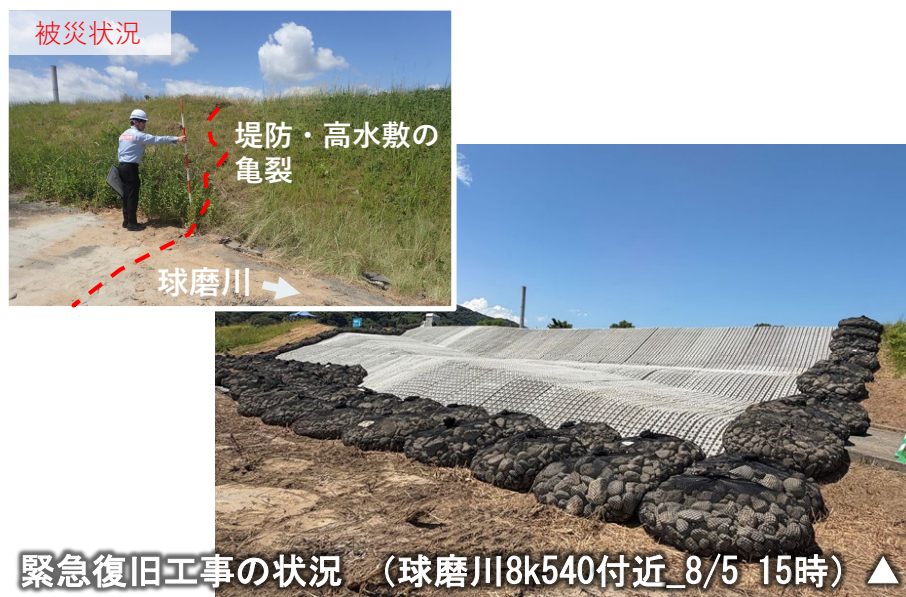


△ 緊急復旧工法（球磨川6k200付近）



3. 被災状況・応急復旧等（河川）

○ 7月29日から着手した球磨川の緊急復旧工事について、8月7日に全ての工事が完了。



3. 被災状況・応急復旧等（砂防）

○ 7月29日から防災ヘリにて土砂災害状況の上空調査を実施。調査結果を熊本県及び長崎県に情報提供。



「溶岩ドーム崩壊危険度判定臨時分科会」の結果
・現時点では、大きな崩落につながる兆候はみられていない
・今後の降雨により下流の保全家屋等に影響が出る可能性は低い



3. 被災状況調査・応急復旧等（港湾）

○ 7月29日から、専門家(国土技術政策総合研究所、港湾空港技術研究所)と連携し、被災した八代港の岸壁の使用可否判定と応急復旧を迅速に実施。その結果、地震発生の日から支援船の入港が実現した。



3. 被災状況・応急復旧等（官庁施設）

○ 7月28日から被災した官庁施設の被災状況を調査するため、職員を派遣。被害のあった庁舎について、応急復旧方法の助言等、施設管理者に対する技術支援を実施。



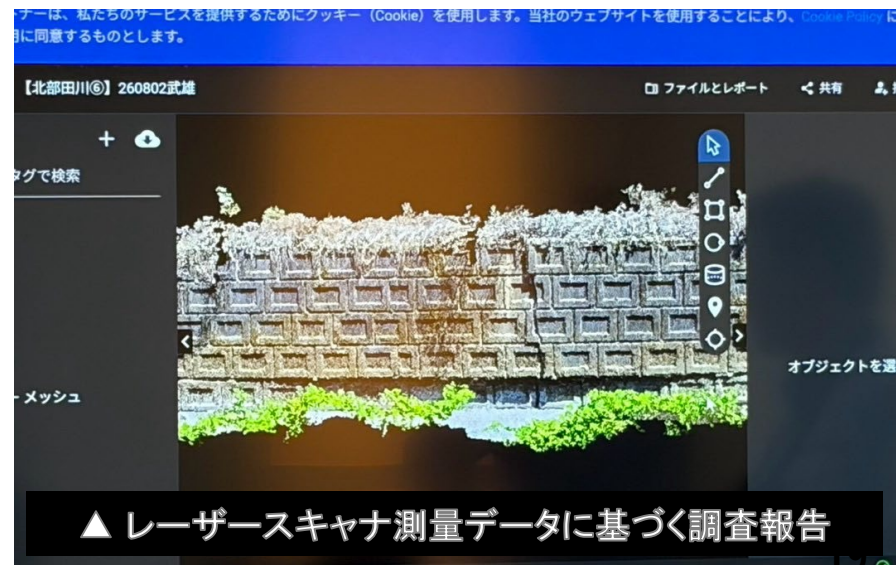
4. 災害対策機械等を派遣（照明車・給水車・対策本部車）

- 全国各地から、災害対策車(照明車、給水車、対策本部車等)延べ45台が稼働。(九州地整27台、他地整18台 令和8年8月3日現在)
- 7月30日、懸命な救助活動が続く「イオンモール熊本」へ、九州地方整備局の照明車を5台派遣し、夜間救助活動を支援。



4. 災害対策機械等を派遣（スターリンク、DX機材）

- 回線業者の通信基地局が停電や被災したことにより広範囲に通信障害が発生。宇城市、美里町にスターリンクを設置し、通信状況の改善支援を実施。
- 360度カメラ、レーザースキャナ測量等のDX機材を用いて早く、広く、分かりやすく被災状況を報告。



4. 災害対策機械等を派遣（ドローン）

○8月4日、甲佐町の土砂崩落箇所に九州地方整備局のドローン調査班、通称BlueHawksを派遣し、被災状況調査を実施。調査映像および点群データを用いた3Dデータを甲佐町に迅速に提供。



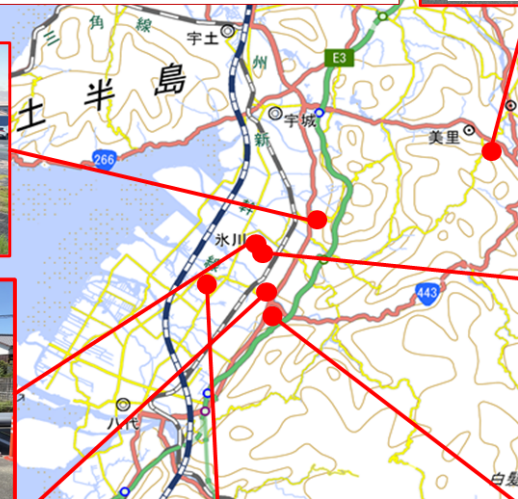
5. 自治体支援（仮設トイレ）

○7月31日から被災地支援のため、全国の防災道の駅、「ゆふいん(大分)」「たるみずはまびら(鹿児島)」「都城NiQLL(宮崎)」「うきは(福岡)」「みやま(福岡)」、「あぐり窪川(高知)」「掛合の里(島根)」「シーサイド高浜(福井)」から8基のコンテナ型トイレを被災地に設置。



■防災用コンテナ型トイレ 派遣箇所図

【道の駅】	【派遣市・町】
○道の駅「ゆふいん」:九州地整	⇒美里町(美里町カントリーパーク)
○道の駅「あぐり窪川」:四国地整	⇒氷川町(竜北グラウンド)
○道の駅「掛合の里」:中国地整	⇒氷川町(竜北グラウンド)
○道の駅「都城NiQLL」:九州地整	⇒氷川町(氷川町伝承館)
○道の駅「うきは」:九州地整	⇒八代市(八代市鏡支所)
○道の駅「シーサイド高浜」:近畿地整	⇒氷川町(道の駅竜北)
○道の駅「みやま」:福岡県	⇒氷川町(屋内ゲートボール駐車場)
○道の駅「たるみずはまびら」:九州地整	⇒宇城市(小川総合文化センター)



5. 自治体支援（給水支援、入浴支援）

○日本水道協会、自衛隊等による給水活動と調整、避難所・医療機関、福祉施設などの重要施設の給水ニーズを把握。給水車約200台をはじめ、水資源機構による可搬式浄水設備の設置等による応急給水の量や頻度を向上。
(令和8年8月4日9時00分時点)

○九州地方整備局の船舶「海輝(かいき)」「海煌(かいこう)」による給水支援のほか、北陸地方整備局「白山」、中部地方整備局「清龍丸」による給水支援、入浴支援等を実施。



▲ 被災地各所における給水支援



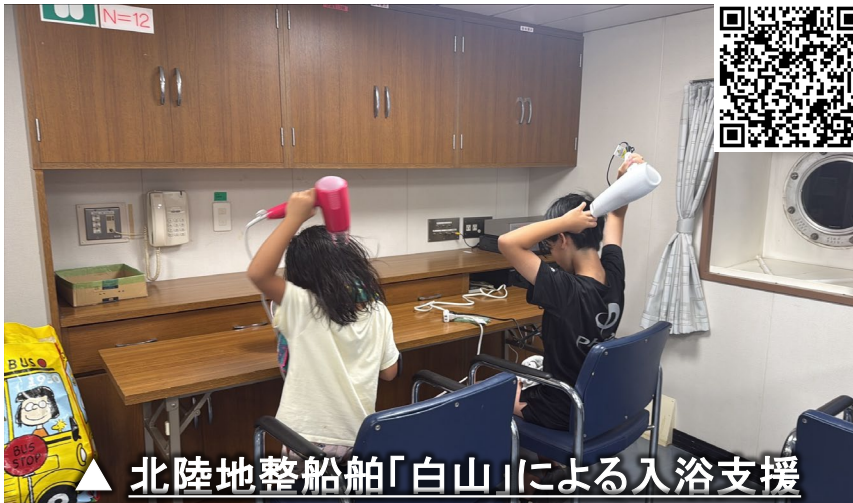
▲ 氷川町設置の可搬式浄水設備



△ 九州地方整備局 船舶
「海輝(かいき)」「海煌(かいこう)」
による給水支援



X投稿



▲ 北陸地整船舶「白山」による入浴支援



5. 自治体支援（被災地に物資を支援）

- 7月31日から、自治体からの支援要請に対し、「九州地方整備局」と「日本建設業連合会九州支部」との災害協定に基づき、支援物資として、飲料水約8,500本を支援。また、風雨対策でブルーシートや土のうについても支援。さらに「日本埋立浚渫協会九州支部」と「熊本県港湾建設協会」が災害協定に基づき、迅速に現地入りし、飲料水や食料等の支援物資を避難所等へ運搬・搬入などを実施。



6. TEC-FORCEの調査結果を自治体へ

- 地震発生から1週間、八代市・宇城市・宇土市・上天草市・天草市・氷川町・甲佐町へ河川や道路、港湾の被災状況のとりまとめ報告を実施。



△調査結果報告書の手交（5市、2町）

7. 建設業界の活躍やSNS等による情報発信

○地域の建設業者は、被災地域の一刻も早い復旧のため、現場気温38度を超える過酷な現場環境の中で復旧作業に全力対応。



▲日奈久ICの路面の舗装補修



▲24時間体制による球磨川の緊急復旧工事



▲協力会社の皆様と作業内容等の確認



▲こまめな水分・塩分補給など体調管理に留意

7.建設業界の活躍やSNS等による情報発信

○九州地方整備局では、ホームページに特設ページを開設、またSNS(X(旧:Twitter))を積極的に活用して、被災状況や復旧に向けた活動情報や道路情報を発信。



7.建設業界の活躍やSNS等による情報発信

- SNS投稿時は動画(タイムラプス等)を活用し分かりやすく工事のスピード感や状況を発信。
- 支援物資の情報発信を行い、関連した他省庁の投稿についてもりポストで拡散し、包括的に支援活動を補助。

国土交通省八代河川国道事務所
@mlit_yatsushiro

#令和8年熊本地震 で被災した #球磨川 左岸8k540付近の堤防の緊急復旧工事が完了しました。
工事開始から完了までの様子をショート動画で公開します。
#復旧 の最前線をぜひご覧ください。
引き続き、一日も早い復旧・復興に向けて取り組んでまいります。
#八代



令和8年熊本地震により被災した
球磨川堤防の緊急復旧工事
左岸8k540付近 (被災延長L=40m)
熊本県八代市渡町

国土交通省 九州地方整備局
八代河川国道事務所

▲動画(タイムラプス)を活用し現場状況を発信



国土交通省九州地方整備局
@mlit_Kyushu

【新たにコンテナトイレ到着】
#近畿地方整備局 が #道の駅シーサイド高浜 (福岡県高浜町) で保管していたコンテナトイレが #道の駅北に到着しました。ぜひご利用ください。
#九州地方整備局 #災害支援 #令和8年熊本地震

国土交通省九州地方整備局
@mlit_Kyushu

【宇城市役所で給水支援を実施】
#令和8年熊本地震 の被災地支援として宇城市役所で給水した。
大規模な断水が続く中、多くの皆さまにご利用いただきました。引き続き、被災された方の生活支援、被災地の早期復旧・復興に向けて取り組まれます。
#給水支援 #宇城市役所 #TECFORCE

国土交通省九州地方整備局 港湾空港部
@mlit_kyushu_kou

八代港では、明日も同じ場所・時間で給水支援を実施。現在、数多くの支援船が給水支援等を行っていただいている。海碑が熊本港、海壇が八代港を拠点にしており、現在は熊本港を拠点として2船が連携して水などの補給を行っています。
#令和8年熊本地震 #国土交通省 #八代港

国土交通省九州地方整備局
@mlit_Kyushu

【救助活動が続く現場を照らします】
現在も懸命な救助活動が続く #イオンモール熊本 で九州明車を5台派遣し、夜間救助活動の支援を行っています。
#令和8年熊本地震 #照明車 #災害支援

被災状況だけではなく支援物資関係についても発信
(コンテナトイレ・給水車・仮設資材・災対車等)

8.大臣視察について

○8月8日から9日かけて金子恭之国土交通大臣が被災後2度目となる訪問で、令和8年熊本地震の被災箇所確認、被災自治体である八代市、氷川町、宇土市、宇城市、美里町、甲佐町を訪問し各首長と面談を行いました。

また、熊本県庁において、熊本県知事との面談後に現地対策本部に訪問し、激励を行いました。

○(主な大臣発言)

「国土交通省として何が出来るかを考え、被災地の復旧・復興に向けて全力で取り組んでいきます。」

■被災地視察状況 (8月8日行程より抜粋)



▲八代JCT被災箇所



▲球磨川堤防被災箇所



▲八代港被災箇所



▲横江大橋

■被災地視察状況 (8月9日行程より抜粋)



▲氷川町災害支援状況(浄水装置)



▲仮設住宅建設箇所



▲熊本県庁 面談



▲現地対策本部激励